

おうちで百人一首

ひやくにんいっしゅ

ひやくにんちご

／百日後にマスターするわたし

九日目／

今日の一首

みなもとのとしよりあそん
源俊頼朝臣



上の句

憂かりける

ひとはつせ
人を初瀬の

やま
山おろしよ

下の句

はげしかれとは

いの
祈らぬものを

まめちしき！

かい こえ だして
3回、声に出て
読んでみよう！

歌の意味

私は初瀬山の觀音様に「あの人があ
私を恩つてくれますように」とお祈
りしたのですが、「初瀬山から吹く風
のようにおに冷たくなつてほしい」
などとはお願ひしませんでしたよ。

百人一首では、親子で歌
を選ばれてる人がいます。
その中でも、俊頼は父だ
けでなく、息子も選ばれて
います。すごいですね。

十日目の歌は・・・

あま
天つ風
かぜ
くも
雲の通ひ路
かよ
かぢ
ふ
吹きとぢよ

をとめの姿
すがた

しばしとどめむ

中・高学年向け